

報道関係各位

没後四〇〇年

古田織部展

平成 27 年

10月10日[土]～11月23日[月・祝]

1



1 《黒織部茶碗》

美濃 桃山時代(17世紀初期)

(下)織部自筆花押



企画概要

公益財団法人佐川美術館（所在地：滋賀県守山市）では、2015年秋季企画展として「没後400年古田織部展」を開催いたします。

桃山時代の武将茶人・古田織部（1544-1615）は、千利休亡き後に茶の湯界のリーダーとなります。侘び茶を極めた師・利休とは対照的に、慶長年間（1596-1615）の華やかな時代の中で大胆奇抜な造形性と斬新な美を創出し、日本の文化史上最も豪壮華麗な桃山文化を彩ります。特にやきもの分野では自身の名前を冠する「織部焼」が生み出され、「織部好み」と呼ばれたゆがんだ茶碗や新奇な意匠が、都市の富裕層を中心に爆発的な流行を見ます。そのユニークでデザイン性に富んだ織部の世界観は、現代の私たちの感性にも響くはずで

本展では、2015年に没後400年を迎える古田織部ゆかりの文化財を中心に、織部が駆け抜けた時代を象徴する歴史資料から、“へうげた”（※）茶の湯の名品の数々を余す所なくお楽しみいただきます。激動の時代を生き抜き、天下一の茶の湯名人として独自の美意識を生み出した古田織部の人物像とその創意に迫ります。

（※）へうげた … 現代読みでは「ひょう（剝）げた」。【剝げる】とは、「ふざける、おどける」という意味で、ここでは織部のゆがんだ茶碗や新奇な意匠に対する言葉。



企画内容(展示構成)

第 1 章 織部の時代

織部が活躍した慶長年間(1596-1615)は、日本各地に城を中心とした新しい都市空間が創出され、建築をはじめ、庭園・絵画・芸能に様々な創意が発揮されます。茶の湯の世界では世俗の“かぶく”風潮を察知して、時流の最先端を積極的に取り入れた織部が新たな指導者となります。本章では華やかな桃山時代を象徴する絵画や工芸品、秀吉・利休の関連資料を通じて、織部誕生の社会的背景をうかがいます。

第 2 章 織部の茶の湯

侘び茶を大成した師の利休とは対照的に、茶の湯の空間に新奇な創意を発揮し、ゆがんだ和物茶碗の創出など、茶陶に新たな世界を切り開いた古田織部。その織部が使った茶道具(主な出品作品 No.4《唐物肩衝茶入》銘:勢高)、あるいは創作に関与したやきものを通し、織部の創意と工夫について展観します。

第 3 章 織部の世界

ゆがんだ茶碗や器を使った織部の演出は爆発的な流行を生み、「織部好み」として都市の富裕層に支持されました。とりわけ織部が推進した会席道具の改革は、料理の多様化を促し、現代に繋がる器となります。本章では織部のデザイン性が如何なく発揮された茶道具や会席道具を紹介します。

みどころ

・ゆかりの茶道具や織部の世界に関連ある茶道具の名品が一堂に

織部の名を冠する焼物と古田織部の関係性については、現在も謎の多いままですが、織部が利休亡き後の茶の湯界のリーダーとなった慶長年間に織部焼の名品が多く生み出されていることから、織部の与えた影響は看過できません。織部が駆け抜けた時代の織部焼を代表とする茶道具をはじめ、茶会で使われた会席道具の名品、さらに織部が指導した各地の窯の作品を一堂に公開します。

・織部自筆の花押(サイン)が記された織部茶碗の名品を公開

黒織部の茶碗としても力作であり、口縁や胴部の抽象文様も織部沓形茶碗の典型的な名品。特に高台脇に記された織部の花押(サイン)は、織部焼と織部の関係性を結びつける重要な意義を持つものとして資料的価値も非常に高い作品となります。(主な出品作品 No.1《黒織部茶碗》)

・茶道具だけでない歴史資料も必見

南蛮胴具足(主な出品作品 No.2)や火縄銃など、桃山時代に流行した南蛮文化に関わる文化財をはじめ、織部が活躍した時代を反映した歴史資料も展示します。



展覧会実施概要

- ◆名 称:「没後 400 年 古田織部展」
- ◆会 期: 2015 年 10 月 10 日[土] ～ 11 月 23 日[月・祝]
- ◆会 場: 佐川美術館
〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891
TEL : 077-585-7800 FAX : 077-585-7810

- ◆開館時間: 午前 9 時 30 分 ～ 午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)
- ◆休 館 日: 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
- ◆入 館 料: 一般 ¥1,000(¥800) / 高大生 ¥600(¥400) ()内は 20 名以上の割引料金
中学生以下は無料 ※ただし保護者の同伴が必要
※ 専門学校・専修学校は大学に準じる
※ 障害者手帳をお持ちの方(手帳をご提示ください)、付添者(1 名のみ)無料

- ◆主 催: 公益財団法人佐川美術館、NHK 大津放送局、NHK プラネット近畿、京都新聞
- ◆特別協力: 公益財団法人上田流和風堂
- ◆協 賛: 日本写真印刷
- ◆制作協力: NHK プロモーション
- ◆後 援: 滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会
- ◆協 力: SG ホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社



《古田織部画像》部分
寛政9年(1797)

古田織部（重然）【ふるたおりべ（しげなり）】（1544-1615）

天文 13 年（1544）美濃国に生まれる。信長、秀吉、家康らに仕え、茶の湯は千利休に師事。利休没後に茶の湯界の指導者となる。師・利休の茶の湯の本旨に沿いつつ、様々な創意工夫を行い、茶の湯の世界に新風を吹き込み、天下一宗匠の地位に就いた。元和元年（1615）に謀反の罪で切腹。享年 72 歳。



主な出品作品



- 2 《南蛮胴具足》 桃山時代(16~17世紀) 東京・宝仙寺
- 3 《竹茶杓》古田織部作 桃山時代(17世紀初期) 広島・上田流和風堂
- 4 《唐物肩衝茶入》銘・勢高 中国・南宋時代(13世紀) 兵庫・瀬川美術館
- 5 《織部扇面形蓋物》美濃 桃山時代(17世紀初期)
- 6 《鉄絵四方形筒向付》唐津 桃山時代(17世紀初期) 東京・五島美術館



●広報用写真について

主な出品作品中の画像をご使用ください。使用につきましては、画像データをご用意しております。

ご希望の方はお手数ではございますが、同封の作品画像使用申込書（兼プレゼント用招待券申込書）に必要事項をご記入の上、当館までファックスでお申送ください。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会以外でのご使用はお断りしておりますので、宜しくお願い申し上げます。

*そのほか貸出希望の作品がございましたら、担当者までお問い合わせください。

●プレゼント用招待券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効のご招待券を 10 枚までご提供させていただきます。

ご希望の方は同封の作品画像使用申込書（兼プレゼント用招待券申込書）に必要事項をご記入の上、当館までファックスでお申送ください。

◆交通のご案内：

お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC より湖周道路経由約 30 分
- 名神高速栗東 IC より守山栗東線経由約 30 分
- 名神京都東 IC より湖西道路 (真野 IC) ・琵琶湖大橋経由約 30 分

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅より路線バス 佐川美術館下車 (約 30 分)
- JR 湖西線堅田駅より路線バス 佐川美術館下車 (約 15 分)

◆連絡先◆

公益財団法人佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891

TEL : 077-585-7800 / FAX : 077-585-7810

企画担当学芸員：いのうえひであき井上英明

h_inoue005@sagawa-artmuseum.or.jp



没後四〇〇年

古田織部展

作品画像使用申込書

(兼プレゼント用招待券申込書)

佐川美術館 宛 FAX / 077-585-7810

申込日 2015 年 月 日

<p>作品画像の露出・掲載等ご使用にあたっての注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請された方法、目的以外には使用しないでください ● 掲載誌・紙は資料として 1 部以上お送りくださいますよう、お願い致します ● その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください
<p>使用作品</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%; text-align: center;"><input type="checkbox"/> 1 《黒織部茶碗》</div> <div style="width: 45%; text-align: center;"><input type="checkbox"/> 2 《南蛮胴具足》</div> <div style="width: 45%; text-align: center;"><input type="checkbox"/> 3 《竹茶杓》古田織部作</div> <div style="width: 45%; text-align: center;"><input type="checkbox"/> 4 《唐物肩衝茶入》銘：勢高</div> <div style="width: 45%; text-align: center;"><input type="checkbox"/> 5 《織部扇面形蓋物》</div> <div style="width: 45%; text-align: center;"><input type="checkbox"/> 6 《鉄絵四方形筒向付》</div> </div> <p>※ご希望の作品にチェックを入れてください。 ※作品画像を使用される際は、キャプションと所蔵先 (No.2、3、4、6のみ) をご記載ください。</p> <p style="text-align: right;">計 _____ 枚</p>
<p>媒体名</p>	
<p>貴社名</p>	
<p>ご芳名 (ご所属)</p>	<p style="text-align: center;">(_____)</p>
<p>ご連絡先</p>	<p>ご住所： (〒 _____)</p> <p>e-mail: _____</p> <p>TEL: _____ FAX: _____</p>
<p>発行 (掲出) 予定日</p>	<p style="text-align: center;">_____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 号</p>
<p>使用形態 (○印)</p>	<p style="text-align: center;">Web サイト / 印刷物 (カラー / モノクロ)</p>
<p>招待券希望枚数</p>	<p style="text-align: center;">読者プレゼント用として、招待券 _____ 枚</p> <p>※ 枚数は 10 枚以内でお願いいたします。ご了承ください。</p>